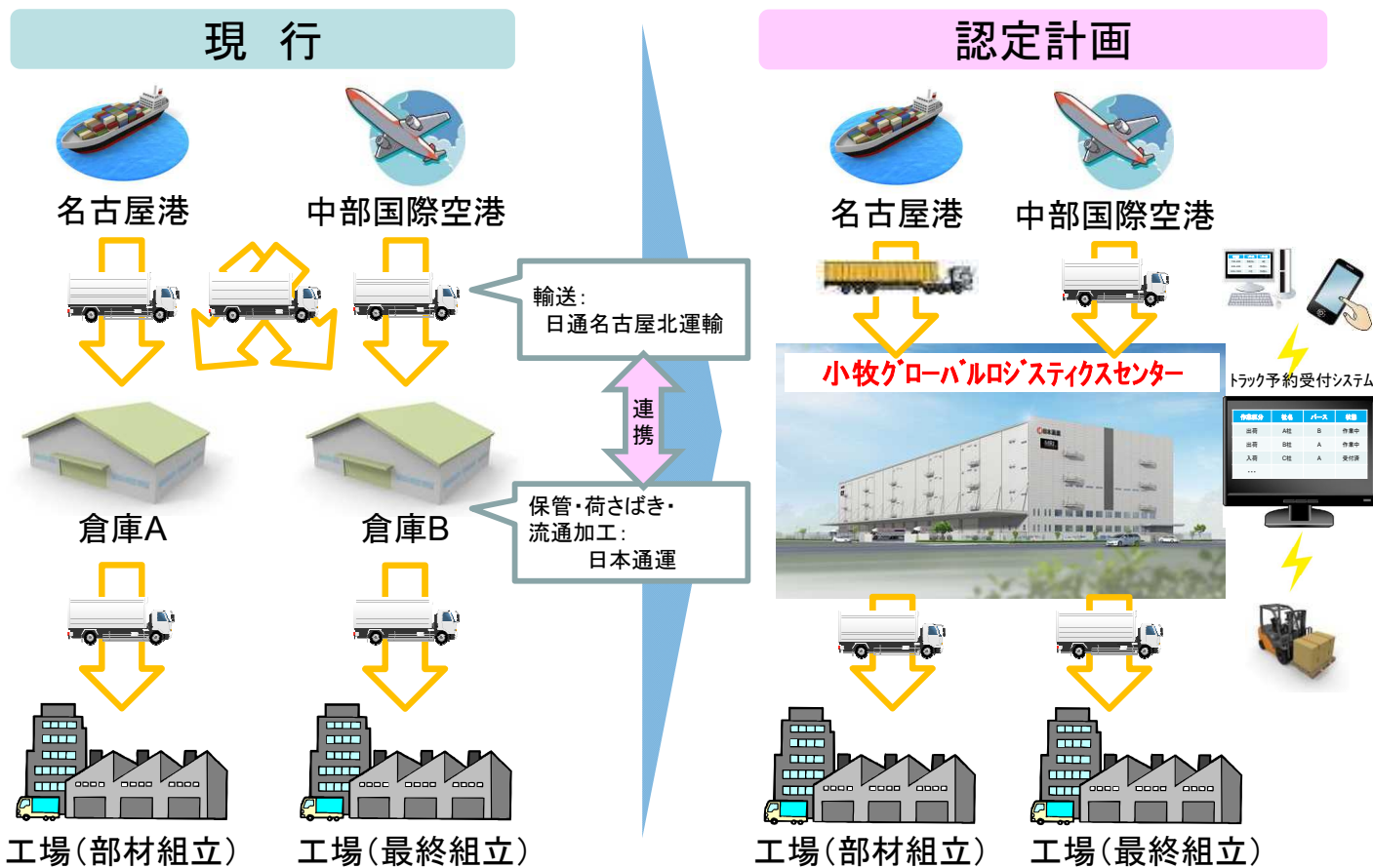


○航空機製造量産化に向けた関連部材パーツセンターの取組み（愛知県小牧市）

- **日本通運・日通名古屋北運輸**は、「輸配送・保管業務の効率化」、「環境負荷の低減」並びに「物流品質の向上」を実現するために、「**小牧グローバルロジスティクスセンター**」を整備し、平成29年2月より業務開始予定。
- 国土交通省は、平成28年12月14日付けで改正物流総合効率化法の規定により**総合効率化計画**として認定。

- ・複数に分散していた保管拠点を**集約**し、輻輳していた**輸送網を集約**。
- ・**トラック台数の減少**及び**積載効率を高める**ことにより、**CO2排出量を削減(22.9%)**。
- ・**トラック予約受付システムを導入**し、**効率的な荷受け作業を実施**することにより、**手待ち時間を削減(80%)**。



＜特定流通業務施設の概要＞

- ・所在：愛知県小牧市新小木2-1他
- ・アクセス：名神高速道路小牧ICから約2.8km
- ・床面積：31,509㎡(9,531坪)
- ・**トラック予約受付システムを導入**

＜トラック予約受付システムの概要＞

【日通名古屋北運輸(トラック側)】

- ① 前日までに事務所のパソコンから荷卸時間・バースを予約
- ② 運転手は、翌日の荷卸時間・バースをスマートフォン等で確認

【日本通運(倉庫側)】

- ③ 事務所で翌日の予約状況を確認
- ④ 予約状況を見ながら作業計画を作成
- ⑤ フォークマンは作業計画に基づく荷卸作業を実施

荷卸する車両は、倉庫のディスプレイまたは手元のタブレット端末等で確認